

都会育ちの若者目線で日野町をPR

地域おこし協力隊が企画「大学生田舎ホームステイ」



町内を巡り新たな魅力探し

8月22日から26日までの5日間、東京富士大学や島根大学、鳥取大学の学生12人が、町内でホームステイをしながら地元住民らと交流活動を行いました。

これは、町地域おこし協力隊の中山法貴隊員らが、都会育ちの学生に町内でホームステイをしながら若者目線で地域の魅力を再発見してほしいと企画したもの。

学生らは、「産業」「観光」「生活」の3つのチームに分かれ、草刈りや種まきなどの農作業体験のほか、農家や町内で活動している住民グループなどを取材。住民と交流しながら日野町の魅力探しを行いました。

26日には、山村開発センターで、学生らが町の魅力化について発表しました。

若者目線でユニークなPR方法を提案

「産業」チームは、産・官・学の連携の必要性や、都会の大学生を派遣し新たな雇用の流れをつくりたいと提案。「観光」チームは、インスタグラムやフェイスブックなどを活用した観光資源や人材の積極的PR、「生活」チームは、「町民全体で育てる子育て環境に着目し、ベビーシッター制度などの提案を行いました。

中山隊員は「これをきっかけにさまざまな地域連携を行い、地域おこしにつなげたい」と抱負を語りました。



苗木を手渡す井上さんとオシドリ天使（右側）

オシドリがつなぐ新たな縁

今年もオシドリ天使が来町

オシドリグループと交流している東京都杉並区の小学生5人が、8月16日から19日までの4日間、日野町を訪れました。

子どもたちは、北帰行せずに日野川に残っているオシドリを観察したり、町歴史民俗資料館の見学や板井原川での川遊びなど、町内を回り地域の人との交流を楽しみました。

また、井上愛理まなりさんがドンダリの苗木1本を持参、オシドリグループへ手渡しました。これは、井上さんが3月に訪れた際に、事務局の森田さんからもらったドンダリを育てたものです。森田さんは「大切に育てます」と笑顔で受け取りました。



美しい音楽と心温まる物語が奏でるハーモニー

弦楽の魅力を感じ・深まる親子のきずな

弦楽器でつづる音の絵本

親子で弦楽器の魅力を発見・体感・深めてもらおうと、鳥取県文化振興財団主催で、8月20日、「弦楽器でつづる音の絵本」が開かれました。

当日は、町内で活動するおはなしグループ「おはなしくれよん」が、「スイミー」「はらぺこあおむし」の物語を音楽に合わせて朗読。演奏は、日野高校音楽コースの卒業生でプロの演奏家としても活躍する、時本野歩のぶさんから4人が美しい音色を響かせました。

また、子どものためのヴァイオリンやチェロなどの楽器演奏体験も行われ、親子で楽しむ様子が見られました。



学生の視点で健康や防災に強い地域づくりを

鳥取大学の学生らが黒坂地区と交流



アユ釣りなど地域との交流で町の魅力を発見

鳥取大学「地（知）の拠点大学による地方創生推進室米子分室」の学生と教員らが、8月8日と15日に黒坂地区を訪れ、地域との交流や調査活動を行いました。

これは、「大学を活用する地域」「地域を活用する大学」をキーワードに、地域に信頼される拠点となることを目指し、鳥取大学が平成25年度から実施している地域拠点整備事業の一環として行われたものです。

8日は、光西寺の清掃作業とアユ釣り体験などを行い、交流を深めました。15日には、黒坂納涼まつりの会場で「黒坂のまちについて」「健康や防災について」のアンケート調査を実施。学生からは「祭りの様子を見てとても親しみやすいと感じた」「住民の防災意識の高さにびっくりした」といった感想のほか、「医師や看護師などを目指すさまざまな学生がいるので、それぞれ違った視点で、防災や健康にかかわることを地域と連携してやっていきたい」と抱負も語っていました。

納涼まつりの来場者に声を聞く

今後は、学生らと黒坂3区が連携し、10月に行われる防災訓練の内容などを検討していく予定です。今回の取り組みを通し、地域志向の人材育成や地域活性化など、今後の展開が大いに期待されます。

きれいな姿で利用者を出迎えたい

JR黒坂駅上菅駅の清掃作業



上菅駅での清掃に参加した皆さん

7月31日、黒坂地区コミュニティ推進協議会（中原明会長）が、JR黒坂駅と上菅駅周辺の草刈りと清掃作業を行いました。黒坂駅では、町観光協会の協力もあり12人が参加し、駅裏の草刈りやサツキの剪定、駅構内の草取りなどを行いました。一方、上菅駅では、自治会の皆さんも参加し、24人で駅舎や自転車置き場などの清掃や花壇の手入れを行いました。参加者は、盆の帰省前に地域の顔でもある駅周辺の美化を行うことで、多くの利用者に喜んでもらえる満足そうな様子でした。

人やまちの記憶に思いをはせる特別な時間

町歴史民俗資料館特別展



懐かしい写真に見入る来場者

8月13日から15日までの3日間、町歴史民俗資料館特別展（町歴史民俗資料館友の会ほか主催）が開かれ、帰省客など多くの人が訪れました。今回は、「懐かしき人々」と題し、

大正〜昭和にかけての日野町の懐かしい写真が多数展示されました。当時をしのげる根雨のまちなかの様子や運動会、ねう祭りなどの地域の行事を写した写真の数々に来場者の多くが見入っていました。地域の人も帰省客も懐かしきふるさとの記憶に思いをはせる3日間となりました。